

## 新年過保護注意報？

いよいよ年が明けます。どんな1年にしますか？

素晴らしい希望や目標をお持ちだと思います。

最近では、少子化の影響で少ない子どもを大事に育てる傾向が強くなっているように見受けられます。もちろん、そのことに異議はありませんが、子どもが困らないように先へ先へと親が手を尽くすことはあまり良い結果につながりません。例えば、幼児期に子どもが名前を聞かれて言えないと親が答える、転んだら直ぐ抱っこして起こす。小学生になり「いじめ問題」に過剰に反応し過ぎることは、子どもの思考や行動範囲を著しく狭めることとなります。

「子どものいたずらは犯罪ではない」という言葉があります。多くを説明できませんが、子ども同志の関係は何時逆転するか分かりません。短期間でいじめられていた子がいじめる側に代わります。

つまり、攻撃していた側が攻撃される側に代わる例です。「明日は我が身」となるわけです。我が子が、どちら側に立ってもお互いゆとりを持って子どもを「許す心」で見守りたいものです。

もうひとつの課題は、子どもの将来を考えると子ども時代に忍耐力や体力を付けておくことは大事です。「かわいそうだから」というだけで過保護になるのは賢明ではありません。

親として子どもが困る姿を見ることは辛いことですが、親にも「見守り力」が必要です。親も新年から変心を！